授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
ヘルスプロモーション	1年次	後期	1	30	有

科目責任者	山口真依・小形紀子・吉野紗知子・後藤博子
授業概要	ヘルスプロモーションの概念や活動について理解し、人々が健康の保持増進を行う意義を学ぶ。また、個人・家族・集団・地域に対する健康教育の実際を理解し、対象に応じた健康教育の実践を通して、ヘルスプロモーションにおける看護職の役割について学ぶ。
目標	1. ヘルスプロモーションの概念（定義、戦略、活動方法等）が理解できる。 2. ヘルスプロモーションに活用する理論が理解できる。 3. 健康教育の実際を知り、対象に必要な健康教育計画を立案、実施、評価することができる。 4. ヘルスプロモーションにおける看護職の役割について述べることができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	「自らの健康」を考える ヘルスプロモーションの概念	小形	講義
2	ヘルスプロモーションと健康戦略	山口	講義
3	健康教育の展開と理論 （プリシード・プロシードモデル　他）	山口	講義
4	健康行動と理論 （ヘルスビリーフモデル　他）	山口	演習
5	ヘルスリテラシーとヘルスコミュニケーション	山口	講義
6	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （館山市の概況、成人保健の動向、活動）	吉野	講義
7	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （高齢者保健の動向、活動）	吉野	講義
8	集団・地域を対象にした健康教育の実際 （母子保健の動向、活動）	吉野	講義
9	個人・家族を対象にした健康教育の実際 （外来における慢性病をもつ対象への介入）	後藤	講義
10	ケースを用いた健康教育の実践 （対象の理解、健康課題の明確化、健康教育計画の立案）	山口	演習
11	ケースを用いた健康教育の実践 （健康教育の教材作成、原稿の作成、リハーサル）	山口	演習
12	ケースを用いた健康教育の実践 （健康教育の教材作成、原稿の作成、リハーサル）	山口	演習
13	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育の実施・発表）	山口	演習
14	ケースを用いた健康教育の実践（健康教育の実施・発表、評価）	山口	演習
15	終講試験	山口	—

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野　成人看護学①　成人看護学総論　医学書院 新体系看護学全書　別巻　ヘルスプロモーション　メヂカルフレンド社
参考書	国民衛生の動向　厚生労働統計協会 系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度②　公衆衛生　医学書院 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学①　看護学概論　医学書院
評価方法・基準	試験（70%）・提出物（30%）